

学位論文審査基準

【経営】

経営学研究科 経営学専攻

項目	課程/論文	基準
主論文を構成する論文の条件	課程博士	(1)2 編以上の掲載済みあるいは掲載が決定した査読付き論文であり、かつ少なくとも 1 編は第一著者であること。内 1 編は国際学会の査読付きプロシーディングスでも可とする。 (2)論文は原則として欧文で記述されたものとするが、研究領域によっては和文でも可とする。 (3)ピアレビュー制度の整った論文誌に掲載されていること。
	論文博士	(1)3 編以上の掲載済みあるいは掲載が決定した査読付き論文であること。 (2)第一著者であることを原則とする。 (3)論文は原則として欧文で記述されたものとするが、研究領域によっては和文でも可とする。 (4)ピアレビュー制度の整った論文誌に掲載されていること。
博士学位にふさわしい学力確認の基準(学位論文の内容に係る審査条件)	課程博士	学位論文に関わる経営学分野ならびにその周辺学術領域に関する口頭試問を行い、十分な学力があることを確認する。
	論文博士	
国際化に対応する研究者としての能力確認の基準	課程博士	英文論文の執筆及び英語での学術的コミュニケーションが取れる能力を有することを確認する。これを評価する基準として、国際的な学術雑誌に英文論文が掲載されていること、国際学会での発表経験、海外研究者との共同研究の遂行、その他の国際交流経験などの観点から、総合的に判断する。
	論文博士	
在学期間短縮に係る基準	課程博士	(1)上記の「主論文を構成する論文の条件」の論文博士と同等の要件を満たす。 (2)上記の「博士学位にふさわしい学力確認の基準」及び「国際化に対応する研究者としての能力確認の基準」を満たす。 以上の学生には研究科委員会の審議を経て在学期間の短縮を認める。